

KINO 徒然通信

2024. 3

日差しが少しずつ変化してきましたね、もうすぐ春、そんなワクワク感、この季節の嬉しさです。新しいムービーラインナップ143号が出来上がりましたのでお送りいたします。
たくさんの方にご参加いただいた2023年ベスト10もご覧になってください。

1位に輝いた「福田村事件」は3月16日(土)～1週間アンコール上映が決まりました。
22日(金)には上映の後に、この映画のきっかけとなった中川五郎さんのライブが決定！ キノの場内で行いますのでこの日は音響で永田壘さんに助けていただいての開催です。

中川五郎さんからのメッセージをご紹介します。

「森達也さんの文章を読んで「福田村事件」のことを知り、多くの人に知られていない出来事を歌にしてみんなに伝えたいと思いました。僕らの国が加害や負の歴史から目を背け、まるでなかったかのようにしようとし、いいところばかりに目を向けさせようとしているうち、国も人々もおかしなことになってきていることが恐ろしいからです。無関心と、無気力がはびこり、同調圧力が高まり、過去に犯した過ちをまたくり返し、それがエスカレートしている、その流れを何としても変えたくて歌っています。歌い始めて56年、これまで何をやったのかにこだわることなく、今何が歌にしたいか、これから何を歌いたいのか、そんな思いや姿勢が伝わるライブにしたいので、ぜひ聞きに来てください。」

みなさんから「キノで「怪物」の上映はありませんか？」というお問い合わせをたくさんいただきました。ようやく決定です。「怪物」3月23日(土)～2週間上映。3月29日(金)は是枝裕和監督ティーチインです。監督とお客様のやり取りはいつもアットホームで時が経つのを忘れますね、どうぞどしどしご質問を。

そしてその前日3月28日(木)は坂本龍一さんの一周忌。坂本さんにとって「怪物」の映画音楽が最後のお仕事になってしまいました。この日は「WAR AND PEACE 教授が遺した言葉たち」特別上映と小林なるみさんによる朗読の一夜を。

この映画を観ると未来が見えてくる、そんな希望をお届けします。シアターキノ32周年記念第2弾 4月16日には「〇月〇日、区長になる女」上映とシンポジウムなど行います。

まもなくアカデミー賞の発表です。連日ほぼ満席状態の「PERFECT DAYS」、すでに2回3回とご覧の方が多く、まさに主人公の平山さんに会いに行く、そんな気持ちかもしれません。ヴィム・ヴェンダース監督と役所広司。ヨルゴス・ランティモス監督とエマ・ストーンによる最高傑作「衰れなるものたち」。ともに信頼と敬意をもって向き合った映画作りの素晴らしさを体感させてくれるでしょう。

シアターキノ 支配人 中島ひろみ